

1 現状と課題

事前ヒアリングを踏まえた外国人患者への医療に関する現状

【全体】

- オリンピックの開催を見据え、訪日外国人の患者への支援という視点から、外国人患者を受け入れるための医療機関の体制整備は一定程度進んできた。
- 外国人患者への支援策が整ってきた中で、いかに今あるリソースを医療従事者に活用してもらうかが重要であり、既存の事業をうまく活用してもらうため、伝え方を分かり易く整理し、周知していくことが必要。
- 医療従事者に対しては、医療情報にスピーディーにアクセスし、事業の一覧や医療機関のリスト等がすぐに見られるサイトやアプリケーションなどが有効だが、現状では構築されていない。
- 医療機関にとっては、宿泊施設向け外国人患者の対応マニュアルにあったフローチャートのようなものと分かりやすい。
- 新型コロナ禍で、訪日外国人が少なくなっている状況を踏まえると、広く事業の周知を行うのではなく、地域をある程度絞って周知を行う等、外国人が多い地域にピンポイントで支援することも検討が必要。
- 新型コロナも踏まえ、オンライン診療など、都の他の事業とも連携しながら外国人患者への医療を推進していく必要がある。
- 今後国際的な人の往来が段階的に再開されることを踏まえ、旅行者を含めた外国人の受入れ対応も求められてくる。

【個別の事例への対応】

- 病院全体の支援だけでなく、例えば「留学生や技能実習生」等への支援といった個別の事例への対応なども考えていく必要がある。
- オリンピックの開催の見通しが立った段階で、今後の外国人患者への医療提供に係る医療機関の現状や課題を知るため、拠点的な医療機関等に対して、医師会等と連携したアンケート等の実施も検討していく。

課題

既存の「外国人患者への医療に関する事業」の活用促進に向けた医療機関に対する効果的な周知方法の検討

2 今後の取組等について

取組方針

今年度は「既存の事業の医療機関への効果的な周知」に重点的に取り組むとともに、次年度以降は、外国人患者向けWebサイトの構築及びアンケート調査等を通じて課題を把握し、個別の課題に対して取組を推進していく。

【今後の取組】

STEP 1

<令和2年度の取組>

- (1) 医療機関向けのWebサイトの検討・構築
- (2) 医療機関向け事業一覧表の作成、周知
- (3) 医療機関向け外国人患者対応フローチャートの作成
- (4) 外国人患者対応支援研修(医療通訳活用等メニュー)の実施

STEP 2

<参考:令和3年度の取組>

- 外国人患者向けWebサイトの検討・構築
- 医療機関向けのアンケート調査等を実施し、課題等を把握することで、各診療科への対応、在留外国人への支援など、個別の課題に対する取組を推進していく

<今後のスケジュール>

令和2年度							令和3年度											
9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業一覧表の作成・周知 フローチャートの作成 医療機関向けWebサイトの検討・構築							アンケート調査の実施 個別課題への取組 外国人患者向けWebサイトの検討・構築											
● 検討部会①		● 検討部会②		● 協議会① ● 検討部会③														